

資産の総合評価シート

施設名	職員研修所	施設所管課	総務局総務部人材育成課	評価番号	28-31
-----	-------	-------	-------------	------	-------

1 分析結果					
(1) データ評価結果					
評価指標		①建物性能	②利用度	③運営コスト	
対ベンチマーク		○	—	—	
【まとめ】					
<ul style="list-style-type: none"> ・①建物性能に大きな課題はなかった。 ・②利用度・③運営コストは、本施設と機能・用途が類似する施設がないことから、データ評価を行わず、総合評価を実施することとした。 					
(2) 現用途の需要見通し					
①利用実績の検証		<p>H2年2月、市政発展に伴う職員増、行政需要の複雑・多様化及び政令市移行に対応するための職員研修施設として、中央コミュニティセンターより美浜区役所4Fに移転。政令指定都市移行に伴う区役所庁舎の整備時期に合わせ、美浜区役所との複合施設として建設された。</p> <p>1 H27年度の利用状況 (1) 受講者数：4,721人（前年度比 115%）【51 課程】 ・各職位で求められる能力の向上に資する必修研修や選択研修を実施している。 ・H27年度には「第2次千葉市人材育成・活用アクションプラン（H26年度策定）」に基づき、高齢層職員の必修研修（シニアステージ研修）、再任用1年目及び3年目研修（希望研修及び2年目研修は廃止）の新設、所属長研修及び女性活躍に関する研修が充実され、研修課程数は増加した。</p> <p>(2) 利用件数：454件（人材育成課分 259件）【稼働率 43.3%】 ・安定した研修運営のため、班分け後の研修人数が36名以下の場合には原則、本施設で実施するものの、職位別研修など人数が多く、大規模な会場でまとめて実施したほうが効率の良いものについては、美浜区役所4F講堂、総合保健医療センター大会議室、本庁舎正庁等での実施している。 ・課程数や受講者数は増加傾向であるものの、予算上の制約もあるため、研修所の各室での研修実施件数が大幅に増加することはないと考えられる。 ・研修利用していない研修室については、主に美浜区役所内各課や西部市税事務所に貸出している。 ・演習室は、メンタルヘルス疾患で休職した職員の職場復帰支援を行うリワーク研修センター（H26年度に移転）として利用されていたものの、近年、研修利用の実績はなく、主に選挙統計事務のため美浜区地域振興課に随時、貸出されている。</p> <p>2 受講者数の推移（H20～H27年度） ・一般職員数は定員数の見直しにより減少傾向であるものの、行政サービスの水準を維持するため、人材育成課では研修課程の充実等に取り組んでおり、受講者数は増加している。 （H20年度：3,244人→H27年度：4,721人） ・研修課程数は増加傾向。（H20年度：40課程→H27年度：51課程）</p> <p>3 運営コスト ・常駐嘱託職員1名の人件費（約300万円/年）及び光熱水費・維持管理費（約1,140万円/年）。 ・集合研修の実施に係る予算は、約3,500万円/年と概ね横ばい。</p>			
②将来の人口動態などを踏まえた利用状況の変化		<p>・「千葉市定員適正化計画（H26年度策定）」では、定員数の見直しにより、H30年度までに法令等により配置基準が定められているものを除く職員を100人純減するとしており、それに伴い新規採用職員研修、新任課長研修等の職位に応じた研修の受講者数は減少する可能性がある。</p>			
③将来における効率性の変化		<p>・職員数の減少により、研修所での研修実施数が減少した場合には、施設利用の効率性が低下する。</p>			

【まとめ】

- ・近年、一般職員数は定員数の見直しにより減少傾向であるものの、研修課程の充実等に取り組んでおり、受講者数は増加している。
- ・集合研修実施に係る予算は、約3,500万円／年と概ね横ばい。課程数や受講者数は増加傾向であるものの、予算上の制約もあるため、研修所の各室での研修実施件数が大幅に増加することはないと考えられる。
- ・千葉市定員適正化計画では、H30年度までに法令等により配置基準が定められているものを除く職員を100人純減するとしており、それに伴い新規採用職員研修、新任課長研修等の職位に応じた研修の受講者数は減少する可能性がある。
- ・H25年度末までリワーク研修センターとして利用されていた演習室は、近年、研修利用の実績はなく、主に選挙統計事務のため美浜区地域振興課に随時、貸出されている。

(3) 公共施設再配置

①検討すべき再配置パターン	<ul style="list-style-type: none"> ・市内に類似施設はない。 ・概ね1km圏内には、美浜保健福祉センター及び美浜文化ホールの複合施設、美浜消防署、真砂いきいきセンター、小中学校や保育所など、多くの公共施設が立地している。 ・近年、演習室は研修利用の実績がなく、空きスペースとなっているため、主に選挙統計事務のため美浜区地域振興課に随時、貸出されている。
②留意すべき制約条件	<ul style="list-style-type: none"> ・本施設は、美浜区役所との複合施設である。 ・美浜文化ホールは、H25データ評価で課題がなく、計画的保全対象としている。また、真砂いきいきセンターは、H25総合評価で当面継続。 ・美浜保健福祉センターは、H28データ評価で課題がなく、計画的保全対象としている。

【まとめ】

- ・市内に類似施設はなく、既に複合化されていることや、周辺施設の状況を踏まえると、直ちに再配置を検討可能な施設はない。
- ・近年、演習室は研修利用の実績がなく、空きスペースとなっていることから、研修室等の貸出頻度が高い西部市税事務所や美浜区役所の施設とするなど、施設の有効活用について検討すべき。

(4) 資産の立地特性

①重視すべきエリア・資産の特性	<ul style="list-style-type: none"> ・市街化区域（近隣商業地域）である。 ・最寄駅（JR 検見川浜駅）まで約500m。 ・周辺は、集合住宅を中心とした街区である。 ・本施設は、美浜区役所内4Fに配置されている。 ・美浜区役所との複合施設であり、本施設を廃止しても建物の除却はできない。
②公共としての活用ポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> ・立地や交通アクセスを踏まえると、公共としての活用ポテンシャルは高い。
③外部転用のポテンシャル	<ul style="list-style-type: none"> ・ビルの他フロアの利用状況や、周辺環境から、民間業者の事務所などにおける利用が見込まれる。 ・複合施設であり、現況を前提とした活用が基本となる。

【まとめ】

- ・用途地域は近隣商業地域であり、立地・公共交通アクセスを踏まえると、公共としての活用、外部転用ともにポテンシャルは高い。

2 総合評価

評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・美浜区役所との複合施設であり、建物性能に課題なし。
継続利用	<ul style="list-style-type: none"> ・近年、一般職員数は定員数の見直しにより減少傾向であるものの、研修課程の充実等に取り組んでおり、受講者数は増加している ・集合研修実施に係る予算は概ね横ばい。課程数や受講者数は増加傾向であるものの、予算上の制約もあるため、研修所の各室での研修実施件数が大幅に増加することはないと考えられる。 ・市内に類似施設はなく、既に複合化されていることや、周辺施設の状況を踏まえると、直ちに再配置を検討可能な施設はない。
方向性	
⑪継続（計画的保全対象）	<ul style="list-style-type: none"> ・以上のことから、本施設は計画的保全対象施設として、必要な保全を行い長寿命化を図る。 ・ただし、H25年度末までリワーク研修センターとして利用されていた演習室は、近年、研修利用の実績はなく、空きスペースとなっていることから、研修室等の貸出利用頻度の高い西部市税事務所又は美浜区役所の施設とするなど、施設の有効活用について検討すべき。